

頑張る農業生姜生産に元気を

質問Ⅱ北浦灌漑事業の進捗は

答弁Ⅱ来年度から工事着手し3か年を予定



池沢 のりこ 議員

生姜生産へ支援を

北浦灌漑事業(事業計画、進捗状況、課題とその対策)は。

水田土木課長

総事業費7億8500万円、内訳は委託業務(測量・設計5500万円)工事費7億3000万円。工事概要(送水管7000m、配水管3200m、取水施設一基、ファームポンド2基)平成31年4月3日に事業採択通知あり、同年4月24日に平成31年度高知県農地耕作条件改善事業費補助金交付申請書提出。令和元年度委託業務(測量・設計)発注予定。令和2年度から

工事着手し、令和4年度完了予定。

後継者の確保(認定農業者への誘導や新規就農者のための農地・担い手の確保及び育成)に取り組む。

耕作放棄地をつくらないように、高知県農業公社の農地中間管理機構を利用し取り組んでいく。

奪わないで、

高齢者の生きがい

池沢議員

いの町シルバー農園事業(高齢者の生きがい活動事業として野菜などを栽培)について「どうなるがやろう、楽しみ、生きがいやけん、もうつくらせてもらえんがやろうか」などの声を聞くが、今後の町の方針は。

池田町長

農業委員会への申請が必要で、事業内容が許可を得られないことが分かったので、令和元年度末で中止する。

利用者団体が希望している同じ場所で、野菜などの栽培ができる手立てについて、代表の方々と協議中、令和元年7月にまた話し合う。地権者の方にも状況説明し、今のところ協力的なお話をいただいている。

次世代へつないでほしい

黒紫米く紫黒・しくうどん

池沢議員

J A女性部が中心となった「仁淀川ふれあい会」により運営開始。現在に至る工芸村直販所内の体験コーナー(こんにゃく、うどん、麵・黒紫米)で活動メンバーが高齢化している。次世代へつなぐべく町としての支援策は。

岡村産業経済課長

地域住民が活躍できるように、移住定住施策の充実や地域おこし協力隊への協力要請など地域活性化に向けた取り組みを継続していく。

もう嫌 浸かるのは

大雨が来るのが怖い

池沢議員

令和元年5月20日、枝川

県住前のときでん軌道が冠水した。雨量からして軌道が冠水するような量ではなかった。原因をふまえた今後の対策は。

水田土木課長

県中央西土木事務所によると、現在付近の排水系統の詳細調査を実施中。今後の排水路設計へ反映する。町として、天神ヶ谷川の河川改修完了時期の令和3年度までには完成してもらえるように要望する。

池沢議員

町内各地の浸水対策の進捗状況は。

水田土木課長

宇治川流域の内水対策・西浦ポンプ場整備は本年度末、東浦ポンプ場整備は令和2年度6月末を完成目標としている。さらに、枝川地区5か所で排水路などの整備も進めており、町実施の内水対策は一部の場所を除き本年度末の完成目標だ。

宇治川排水機場のポンプ増設工事は年内に完了する。

仁淀川本線の音竹箇所、

加田箇所は、国土強靱化の一環として今年度予算が確保され樹木伐採・河道掘削などの工事を実施予定。

県管理の奥田川については、残る800m区間の部分の整備に着手し進んでいる。また、中の谷川の改修については、今年度護岸整備を約10m、中の谷川の維持として河川内の支障木の伐採を3か年で行う予定。

Ⅱその他の主な質問事項Ⅱ

①国、県の動向をふまえた仁淀病院の今後の運営は。

②偕楽荘の職員からの告発を受けて、発覚した虐待事案は。

・利用者の人権を一番に心にとめたサービス提供を。

・改善計画は、その方一人ひとりの生活に寄り添うものとなっているのか。

・指定管理者制度を導入してはどうか。

③未来を考える会のあるべき姿は。

④適材適所の職員配置を

⑤必要な町メール配信を

⑥町事業実施方法の課題
⑦産業振興推進総合支援事業